

「シモキタ 変えないで」

縦断道路中止求め提訴

住民50人

ライブハウスや若者に人気の古着店が並び、

「シモキタ」の愛称で親

しまれる東京都世田谷区

の下北沢地区を縦断する

道路建設計画が持ち上が

っている問題で、地元住

民五十人が七日、国と都

を相手取り、道路建設の

事業認可差し止めを請求

する訴訟を東京地裁に起

こした。

問題となっている道路

は世田谷区が約一・三キ

の区間を施工予定の都市

計画道路補助54号線。国

の「連続立体交差事業」

の一環で、小田急線の高

架化や地下化と並行して

進められている。

小田急線と京王井の頭

線が交わる下北沢駅周辺では、地下化が決定した

小田急線の線路と交差す

る形で、最大幅二十六

の道路が、路地が入り組

む駅北口の商店街から駅

南口の住宅街を縦断す

る。同区は約五千三百平

方畝の駅前広場とともに

整備する予定で、今年七

月、都に事業認可申請を

出した。

訴状は、「並行する道

路の拡幅工事も完成間近

で、新たな道路建設の必

要性はまったくない。地

域への通過交通が増える

だけ」と指摘。「道路自

体が六十年前の戦災復興

院告示で計画されたの

に、小田急線の立体交差

事業をきっかけに、住民

説明も不十分なまま行政

が事業を進めるのは違

法」と主張している。